ハンドマイク街頭演説原稿例　自民党総裁選をめぐって（１）

二〇二五年九月二十六日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、石破茂総理の退陣表明を受けての自民党総裁選に、五人が立候補しました。マスコミが連日報道し、埼玉県内でも特定の候補者を応援する宣伝カーを見かけますので、ご存知の方も多いと思います。

　石破さんの退陣は、昨年の衆議院総選挙、今年の参議院選挙で大幅に議席を減らし、与党過半数割れになった責任を取るという形です。では、なぜ与党は２回の国政選挙で大きく負けたのでしょうか。裏金問題、今も続く物価高騰への無策、アメリカいいなりに自衛隊の軍備を増やすために巨額の予算を振り向け、私たちの生活を支える分野の予算を削ったことなど、これまでの自民党の政治に対して多くの国民が怒り、ノーを突きつけた結果ではないでしょうか。そうであれば、自民党総裁選で問われるべきは、それらの問題にどう対応するか、ではないでしょうか。

　先日には日本記者クラブが主催する討論会が行われ、各地で演説も行われています。これらを見ると、参議院選挙で大きな争点となり、国民からの期待の高い消費税減税には、五人とも反対を表明しました。選択的夫婦別姓にも全員が慎重な立場です。その一方、軍備拡大と日米同盟強化、外国人差別をあおる排外主義的政策といった問題は積極的に取り上げています。自民党に対する怒りの着火点となった裏金事件については、誰も触れようとしません。どの候補者も、今までの自民党の政治を続ける立場をはっきりさせたと言って良いと思います。つまりは、誰が総裁に選ばれて総理大臣になっても、今までと変わりのない政治が続くということではないでしょうか。

　ところでみなさん、参議院選挙のあと、国会での本格的な論戦は一度も行われておらず、現在は国会が閉会中です。野党は憲法に基づく国会開会要求を提出しましたが、自民党は総裁選挙を理由に、早期に国会を開くことに反対しています。総理大臣の交代が予定されているとは言え、消費税や物価高騰、国際情勢など、国会で議論すべき課題はたくさんあります。総裁選はあくまで自民党の内部の問題であり、並行して国会を開くことは十分可能です。日本共産党は、すみやかに国会を開いて内外の課題についての議論を進めることを、強く求めます。

　日本共産党は、自民党政治をおおもとから変えて、新しい政治を実現するため、引き続き全力で頑張ります。みなさんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」は、自民党の裏金問題を最初に取り上げました。十月からは、週一回発行の「日曜版」の電子版が新たにスタートします。この機会に「しんぶん赤旗」をぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）